

公益社団法人香南市シルバー人材センター
令和4年度事業報告

概要

少子高齢化が進行するなかで、会員の高齢化はますます進んでおり、令和4年度末の香南市シルバー人材センターにおける平均年齢は、前年度末から0.1歳上昇し74.3歳となりました。年齢構成は、60歳代が21.6%、70歳代が62.0%、80歳代が16.4%となっています。

このような情勢のなかで、当センターにおける令和4年度の受注状況は、請負・委任の受託事業では、前年度と比較して草刈作業が約257万円、屋外軽作業が約136万円それぞれ減少したことなどから、受注件数は、対前年度比126件減の2,116件、契約金額は、対前年度比4,041,342円減の71,588,978円となりました。また、派遣事業では、前年度と比較して農作業が約50万円減少したものの、出荷・受荷係事務が約84万円増加したことなどから、受注件数は、対前年度比28件増の182件、契約金額は、対前年度比445,285円増の34,861,414円となりました。受託事業・派遣事業を合わせた全体の契約金額は、対前年度比3,596,057円減の106,450,392円となりました。

また、重点事項である会員の確保・拡大の取り組みについては、市の広報誌や香南ケーブルテレビを活用した広報活動を行うとともに、スーパーマーケットの店頭におけるチラシ配布等も実施し、併せて各種イベント参加による市民との交流も行いました。また、香南市と連携して、人手不足分野等の就業希望者獲得のための、生活支援・介護予防担い手研修を開催しました。なお、会員の登録状況については、全国的に会員減が進むなか、高知県シルバー人材センター連合会と連携して会員の確保に取り組み、令和4年度中の入会会員数は30名となりましたが、退会会員数が38名となったことから、令和4年度末の会員数は、昨年度より8名減の208名となりました。

次に、就業開拓の強化の取り組みについては、就業現場の意見収集を行うことで、就業の確保を図りました。なお、企業の訪問活動は、新型コロナウイルスの影響などにより実施できませんでした。

次に、安全・適正就業の取り組みについては、安全・適正就業委員会において検討・作成した安全就業基準に基づき安全パトロールを実施するとともに、安全研修会等を開催し、会員の安全就業意識の向上に努めました。